

# CILとちぎ通信

第8号 平成23年10月30日発行



9月23日 バーベキュー 大勢集まりました

JIL 関東ブロック研修会	2	バーベキューを開催しました	7
防災講演会	3	バーベキューに参加して	8
防災講演会の感想	4	国際福祉機器展に行ってみて	9
防災講演会に参加して	5	カラオケ	10
マカロン作りにチャレンジ	6	TDFの動き	11
マカロン教室	7		

とくていひ えいりかつどうほうじん しりつせいかつ  
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

とちぎけんうつのみやししもぐりまち  
〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

でんわ  
電話・FAX：028-638-2538 E-mail：ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL：http://www11.plala.or.jp/ciltochigi/index.htm

# かんとう けんしゅうかい そうごうふくしほうがくしゅうかい JIL関東ブロック研修会「総合福祉法学習会」について

さいとうやす お  
齋藤康雄

ねん がつ にち しんじゅく にちほんかいぎじむ  
2011年9月15日(木) 新宿NSビルにおいて、DP | 日本会議事務  
きょくちょう しょう しゃせいどかいかくすいしんかい いぎこうせい いん おのうえこうじし まね そうごう  
局長で障がい者制度改革推進会議構成員の尾上浩二氏をお招きし、総合  
ふくしほうがくしゅうかい そうごうふくしほうこっしあん ていげん てんぼう わたし ちいき と  
福祉法学習会「総合福祉法骨子案の提言とその展望、私たちが地域で取り  
く ぐくしゅうかい かいさい  
組んでいくこと」についての学習会を開催しました。

ねん がつこくれん こくれんしょうがいしゃけんりじょうやく せいりつ  
2006年12月国連において、国連障害者権利条約が成立しました。  
けんりじょうやく けんぼう ほうりつ あいだ いち けんりじょうやく じつこうせい  
権利条約は憲法と法律の間に位置づけられ、権利条約を実効性あるもの  
とするためにも法律の整備が必要不可欠となります。その一つでもある  
ほうりつ せいび ひつようふか かけつ ひと  
総合福祉法の骨格案が8月30日に部会より提出されました。

いま わたし しんぽうせい てい む なに なに  
今、私たちが新法制定に向けて「何をしなくてはいけないのか」「何を  
すればよいのか」、さらにけんりじょうやくひじゅん む ちいき きばんせいび ひつよう  
権利条約批准へ向けた地域の基盤整備に必要な  
なにか ことさつ きょうゆう ば もくてき かいさい  
ことは何かを考察し共有できる場となることを目的に開催しました。



がくしゅうかい しょうがい ひと  
学習会では、「障害のある人の  
けんり かん じょうやく だい じょう  
権利に関する条約」の第3条  
いっばんげんそく だい じょうじりつ せいかつ  
一般原則、第19条自立した生活  
せいかつ じりつ およ ちいきしゃかい  
[生活の自律]及び地域社会へのイ  
ンクルージョンの説明があり、  
ほご こうせい じりつ けんり  
「保護・更生から自立・権利」、  
しせつ ちいきじりつせいかつ  
「施設から地域自立生活」という  
しょうがいしゃ ちいきじりつせいかつ なか  
障害者の地域自立生活の流れは  
たしょう ゆも ちち ちち あゆ  
多少の揺り戻しや、遅々とした歩  
なん じつげん ちいきせいかつ

みであっても、かわらないこと。また、何としても実現したい地域生活と  
なにか ことさつ きょうゆう ば もくてき かいさい  
いうことで、①すべての障害者の地域生活の権利の確認、②障害程度区分  
すべ しょうがいしゃ ちいきせいかつ けんり かくにん しょうがいていどくぶん  
(国庫負担基準が支給量の上限になる問題)の廃止、③重度訪問介護の  
こっこふたんきじゅん しきゅうりょう じょうげん ちんたい はいし じゅうどほうもんかいご  
発展によるパーソナルアシスタンス制度(利用範囲の制限を無くし、通勤、  
はってん せいど りょうはんい せいげん な つうきん  
通学、入院、1日の範囲を超える外出)、④サービス費用に対する国庫負担  
つうがく にゅういん にち はんい こ がいしゅつ ひょう ことさつ  
金十長時間介護の財政調整、⑤地域移行と地域基盤整備計画(財源確保)  
きん ちやうじかんかいご さいせいちやうせい ちいきいこう ちいききばんせいびけいかく さいげんかくほ  
の説明がされました。  
せつめい

最後に、今秋から来春法案の閣議決定までが勝負で、障害当事者らが加わり取りまとめた骨格提言を後退しないように、JDFを軸とした障害者団体が連携し、地方からも声をあげて言っていただき、より良い制度を作るために頑張りますと、分りやすくポイントを説明していただきとても勉強になった研修会でした。

## ぼうさいこうえんかい 防災講演会

ながたげんじ  
永田元司

10月15日、とちぎ健康の森で防災講演会を行いました。自立生活センターとちぎで防災に関する勉強会を行うのは一昨年に続いて2回目です。今回は福島県のいわき自立生活センターの小野和佳さんをお迎えして、いわき市の障害者が東日本大震災後にどのような状況であったかの話をしていただき、その後、障害当事者やその家族など5名の方による災害にどう備えるかのパネルディスカッションを行いました。

小野さんからは、主にセンターに関わる人達の避難生活を報告していただきました。地震によりエレベーターが止まったこと、津波の被害は地域により様々であったこと、避難所での生活は難しいこと、介助者の確保の問題、少ない情報の中で放射線の影響



をどう考えるか、集団で東京の戸山サンライズへ避難するに至った経緯や避難生活の様子など、いろいろな話を聞くことができました。

やはり、身近で津波や原発事故の影響を受けた方の話は具体的で生々しく、栃木県で間接的に伝え聞くだけではわからなかったことも多かったです。そして、そのようなことが自分の身に起こったらどうしたらだろうか、どうすべきだろうかということを考えざるを得ませんでした。

その後は、とちぎボランティアネットワークの矢野正広さんに災害時の

避難等の話をいただき、さらに矢野さん小野さんに宇都宮市社会福祉会連合会の麦倉仁巳さん、親の立場から障害者福祉推進ネットちえのわの吉永久美子さん、当事者の大山智子さんを加えた5人の方々によるパネルディスカッションとなりました。東北ほどではないものの宇都宮でも停電したり電話での連絡ができないなど影響があり、パネラーの方からは3月11日の苦労やその後の心配事などの話がされました。

どのような対策をとることができるのかという問題に対しては、これで絶対に大丈夫という対策はないにせよ、通常の防災グッズに加えて障害の特性により必要な物品は用意しておき、避難時に手を貸してもらいやすいよう近隣の方々に自分の存在を知ってもらい、地域と繋がりを持つておくことが大切なのではないかという意見が共通したものでした。



災害が起これば、日頃は人を支援している方もが支援を要する状況になるという、当たり前だけれどあまり実感を伴って考えられなかったことが、今回の震災や小野さんの話により現実のものとして考えられるようになりました。そして、今回の震災により言われている

課題が、実は阪神大震災の時から言われていることと変わらないという話が印象的でした。

## 防災講演会の感想

おおやまのりこ  
大山智子

『防災講演会』で感じたんですが、災害弱者である自分たちの危機管理についてもう一度正面からしっかり向き合っていかなければいけないのでは、と再確認しました。

災害は、障がい者・健常者というくくりなく誰にとっても『想定外』の出来事でその困難は、一過性か長期にわたるものか予測不能なことです。

いわき自立生活センタースタッフ小野和佳さんの講演で、地震そのものの被害は東日本全体で大差はなかったけれど、いわき市での自立生活が、津波の影響による原発の問題、風評被害があり窮地におちいりそのために、利用者・ヘルパー・スタッフ・家族の大人数で、東京の戸山サンライズにて、約1か月間避難生活をおくったということを知りました。

ヘルパーを利用することで私たちが自立生活が成立している現状も想定外なことが起きるといふ生の声は、地域で暮らす障がい者に、多くの課題をさせられたと実感します。



・防災について（または災害が起きたときに）、個々で準備に取り組むべき

こと・働きかけること

・災害弱者として、団体で取り組んでいかなければならないこと・働きかけなければならぬこと

CIL とちぎでも危機管理を意識し、この講演から学び活かさなければと思

## 防災講演会に参加して

ふなだたかひろ  
船田高広

防災講演会に介助者の立場で参加して考えさせられました。

災害は常に人の想像を遥かに上回る出来事であるということです。何か事が起これば、対処とは程遠いのが現実です。

危機管理への意識や、被害に対するイメージが乏しく、実際にはどのような状況におかれるのかが想像出来ません。私も利用者さんと一緒にいたが、土地感の余り無い場所での震災でしたので家族の安否確認がつかずに孤立感がありました。地域との繋がりの大切さも垣間見ました。

障害の有無に関わりなく、誰でもが「災害弱者」に可能性があります。こうした認識に立って、「災害弱者」の問題を、社会全体の問題として防災計画に取り組んでいくことを願ってやみません。



## マカロン作り<sup>づく</sup>にチャレンジ



はこいしみつこ  
箱石充子

CILとちぎでは障<sup>しょうがい</sup>害<sup>がい</sup>を持った私<sup>わたし</sup>達<sup>たち</sup>が  
あまり体<sup>たい</sup>験<sup>けん</sup>した事<sup>こと</sup>がないよな事<sup>こと</sup>に挑<sup>ちょう</sup>戦<sup>せん</sup>  
してみようという考<sup>かん</sup>えもあつて6月<sup>がつ</sup>にお  
菓<sup>かし</sup>子<sup>づく</sup>作<sup>つく</sup>りに挑<sup>ちょう</sup>戦<sup>せん</sup>するこ<sup>こと</sup>になりました。マ  
カロン作<sup>づく</sup>りです。

実<sup>じつ</sup>際<sup>さい</sup>に作<sup>つく</sup>っている人<sup>ひと</sup>も中<sup>なか</sup>にはいましただけ  
れども、私<sup>わたし</sup>は始<sup>はじ</sup>めてでしだ。簡<sup>かん</sup>単<sup>たん</sup>なよ<sup>よう</sup>でとつてもデリケートなお菓<sup>かし</sup>子<sup>づく</sup>  
です。ス<sup>す</sup>タ<sup>た</sup>フ<sup>ふ</sup>は10回<sup>かい</sup>以上<sup>じょう</sup>練<sup>れん</sup>習<sup>しゅう</sup>を重<sup>かさ</sup>ねましたが、一<sup>いち</sup>度<sup>ど</sup>とつして100%上<sup>う</sup>手<sup>ま</sup>く  
い<sup>い</sup>つたとい<sup>こと</sup>う事<sup>こと</sup>はなかつたのですが、とにか<sup>とう</sup>か<sup>じつ</sup>く<sup>そと</sup>当<sup>さん</sup>日<sup>か</sup>は外<sup>い</sup>か<sup>ら</sup>の参<sup>さん</sup>加<sup>か</sup>者<sup>しゃ</sup>とセ  
ン<sup>にん</sup>タ<sup>さん</sup>の<sup>か</sup>ス<sup>た</sup>フ<sup>ふ</sup>で10人<sup>にん</sup>参<sup>さん</sup>加<sup>か</sup>とな<sup>り</sup>ま<sup>し</sup>た。講<sup>こう</sup>師<sup>し</sup>の方<sup>かた</sup>はあ<sup>ち</sup>ち<sup>い</sup>行<sup>い</sup>つたり  
こ<sup>い</sup>ち<sup>い</sup>行<sup>い</sup>つたり会<sup>かい</sup>場<sup>じょう</sup>中<sup>ちゅう</sup>をグ<sup>い</sup>ル<sup>い</sup>グ<sup>い</sup>ル<sup>い</sup>忙<sup>いそ</sup>しそ<sup>う</sup>でしだ。私<sup>わたし</sup>達<sup>たち</sup>ス<sup>す</sup>タ<sup>た</sup>フ<sup>ふ</sup>も  
一<sup>いち</sup>心<sup>しん</sup>経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>者<sup>しゃ</sup>とつして聞<sup>き</sup>か<sup>れ</sup>た<sup>ら</sup>説<sup>せつ</sup>明<sup>めい</sup>が<sup>で</sup>き<sup>る</sup>よ<sup>う</sup>に<sup>し</sup>て<sup>い</sup>ま<sup>し</sup>た<sup>が</sup>、あ<sup>ま</sup>り  
役<sup>やく</sup>に立<sup>た</sup>ないよ<sup>う</sup>でしだ。参<sup>さん</sup>加<sup>か</sup>者<sup>しゃ</sup>の皆<sup>みな</sup>さん<sup>は</sup>色<sup>いろ</sup>付<sup>づ</sup>けを<sup>し</sup>たり、オ<sup>お</sup>ー<sup>お</sup>ブ<sup>ぶ</sup>ン<sup>ん</sup>で  
焼<sup>や</sup>いたり、本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に<sup>たの</sup>し<sup>そう</sup>に<sup>つ</sup>く<sup>つ</sup>て  
いま<sup>し</sup>た。ご自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の作<sup>つく</sup>つたマカロン  
で<sup>ちや</sup>お<sup>お</sup>茶<sup>ちや</sup>を<sup>お</sup>も<sup>も</sup>つたのですが、時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>  
無<sup>な</sup>く<sup>な</sup>つて<sup>し</sup>ま<sup>い</sup>お<sup>も</sup>ち<sup>かえ</sup>帰<sup>かえ</sup>り<sup>し</sup>て<sup>い</sup>  
た<sup>だ</sup>き<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>。

皆<sup>みな</sup>さん、は<sup>た</sup>して<sup>あじ</sup>お<sup>ほう</sup>味<sup>み</sup>の方<sup>かた</sup>は<sup>い</sup>か  
が<sup>で</sup>し<sup>た</sup>で<sup>し</sup>ょう<sup>か</sup>? お<sup>たの</sup>楽<sup>たの</sup>しみ<sup>い</sup>  
た<sup>だ</sup>け<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>で<sup>し</sup>ょう<sup>か</sup>? ま<sup>ほか</sup>た<sup>ほか</sup>の<sup>かん</sup>もの<sup>が</sup>を<sup>に</sup>考<sup>かん</sup>え<sup>て</sup>日<sup>に</sup>程<sup>てい</sup>を<sup>く</sup>組<sup>く</sup>ん<sup>で</sup>み<sup>ま</sup>す  
ので<sup>いっ</sup>し<sup>しょ</sup>に<sup>たの</sup>楽<sup>たの</sup>しみ<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。



# マカロン教室

おおやまのりこ  
大山智子

調理実習をすることが決まったものの、準備期間中はマカロンが成功しないという不安で気が焦るばかりでした。気温・湿度・オープンの種類など、マカロン作りの繊細な工程に不似合いな、大雑把な性格のわたし・・・このままみなさんに教えていいものか悩み、何度もなんども自宅でマカロンを作り、試行錯誤の日々でした。



出来上がりや味  
は二の次（ここが  
大事なはず！（笑）  
で、この時間を  
みなさんに楽しんで



いただけただのであれば幸いです。また次回、今回の実習の準備や段取りを改善して、調理実習を企画したいと思いますので、みなさんに案内を送れるようガンバリマス（^^）

とー山さんの感想  
お菓子の調理も楽しくできてよかったと思  
います。また企画してほしいと思います。



## バーベキューを開催しました。

はこいしみつこ  
箱石充子

バーベキューを9月23日に開催しましたが、1週間くらい前からお天気がよくなって台風12号、13号が続けて日本に近づいていて12号は日本縦断、しかも大型で強い風雨共に強く、しかもゆっくり速度という予報だったので、ハラハラドキドキしながら当日を迎えました。幸い台風は通り過ぎま



したが、朝から今にも降り出しそうな空模様で気温も低く「お天気は大丈夫  
だろうか?」「雨は降らないだろうか?」「参加者の皆さんが風邪を引いた  
らどうしよう」などなど不安がいっぱいでした。

さてバーベキューが始まり焼き始まった途端、思っていた不安が的中。  
小雨が降り出してしまいました。今年は初めての参加者が多く 63人の  
参加者でした。皆さんの普段の行いがよかったせいか、大勢のパワーで  
あまくも雨雲をどこかへ散らしてしまったのか、少し経つうちに打って変わった



晴天になってきました。カラリと晴れた  
初秋の空の下、ゲームをしたりお話を  
したりお楽しみいただけのような気がし  
ます。またこういう機会を作りますので  
ご参加下さい。ちなみに私のゲームの  
景品はナス3個でした(笑)。

## バーベキューに参加して

おおつかまさこ  
大塚雅子

9月23日(秋分の日)に、私にとっては2回目となる、みずほの自然の  
森公園で行われた「バーベキュー」に参加しました。私達親子といつも  
お世話になっている、お知り合いの方1名の計4名で1日、とても楽しむ  
事が出来ました。後の話で、参加人数が約60名であったということを知  
り、驚きました。

「自立生活センターとちぎ」さん  
以外の障害者団体の方々や、  
「宇都宮短期大学」の先生や生徒さ  
ん達と和やかな雰囲気の中で、談笑  
しながらの「いつもとは一味も二味  
も違う特別な昼食」でした。お肉は、  
豚肉が美味しかったです。私自身、  
どうしても「メインはお肉!」となりがちだと感じていますが、野菜や焼き  
そばも美味しかったです。



わたし た きゅうけい あいま ほか さんかしゃ みな くだもの  
私は食べることを休憩している合間、他の参加者の皆さんに果物やお  
かし くば ある てつだ みな  
菓子を配って歩きました。お手伝いをしながら皆さんとふれあえたことも  
うれ うれ  
とても嬉しかったです。わたし おい た とき だれ  
私は、「美味しいものを食べている時には、誰でも  
えがお かん  
笑顔になる。」と感じています。

た もの えがお しぜん き も あた  
食べ物だけではなくて、たくさんの笑顔も自然にもらい、気持ちが温か  
ほんとう  
くなりました。本当にありがとうございました。

やま かんそう  
とー山さんの感想

はじめは、「雨」でちょっと大変でも なん  
よ おも  
とか？やれて良かったと思います。

こくさいふくしききてん い  
国際福祉機器展に行ってみて…

ちだまさみ  
千田真巳

がつ か どうきょう かいさい こくさいふくしききてん りようしゃ  
10月7日に東京ビックサイトで開催された国際福祉機器展に、利用者  
さんや事業所の方々へ行ってきました。正直、行くまでは自分が行っても  
じぎょうしょ かたがた い しょうじき い じぶん い  
あまり楽しめないかなと感じていました。しかし実際に行ってみると、自分  
たの かん じっさい い じぶん  
でも興味をそそられるような展示や知っている企業の展示がいくつかあり  
きょうみ てんじ し きぎょう てんじ  
ました。

とく いんしょう のこ いぜん み かいじょしゃ こし ひざ  
特に印象に残っているのが、以前にテレビで見た介助者の腰や膝への  
ふたん けいげん  
負担を軽減させる「サポートスーツ」でした。見た感じロボットという感じ  
じつよう てき かん  
だったので実用にはまだ適していないのは感じましたが、このロボットが  
なんねんご じつようか かんが すこ こうらん  
何年後かには実用化されるのかなと考えたと少し興奮しました。

くるまいす けい きぎょう がいこく  
車椅子のメーカーも、スポーツ系の企業から外国のメーカーなどがあり  
こくさい つ おも とく けい がいこく  
「さすが国際と付くだけはあるな」と思いました。特にスポーツ系、外国の  
くるまいす かん じぶん  
ブースの車椅子はマウンテンバイクのような感じで、自分にあつたものに  
カスタムするため、たくさんの種類の部品があることに 驚きました。  
しゅるい ぶひん おどろ

さいしょ き にち ぜん まわ  
最初に聞かされていたように、1日では全ブース回りきれないという  
ことば なっとく  
言葉に納得がいきました。

こんかい ふくしききてん しかくてき よ おも きょうみ  
今回の福祉機器展では視覚的なもので良いと思ったものばかりに興味  
い じかい い すこ もの きのうちき ぶぶん きょうみ  
行っていたので。次回行くときにはもう少し物の機能的な部分にも興味を  
も べんきょう ひつよう かん  
持てるように勉強する必要があるなと感じました。

# カラオケ



8月某日、月1回程度行っている食事会を変更して、カラオケに行こうということになりました。場所は部屋の広さやトイレの設備等を考えてシダックスにしました。当事者11人プラス介助者で、総勢17人もの賑やかな集まりになりました。カラオケは久しぶりという人も多かったですが、皆、歌は好きなようで楽しんでいました。ただ、たくさん歌いたい人には順番が回ってくるのが遅くて、物足りなかったかも。普段と違う面を見せてくれる人もいて、たまにはこういう集まりもいいなと思いました。



## TDFの動き

栃木障がいフォーラム(TDF)の総会&研修会が7月8日(金)に栃木福祉プラザで行われました。

平成23年7月現在加盟団体は、36団体で、設立後初めての総会になり、活動報告、活動計画、決算報告、予算の議題が話し合われました。今後の課題として、財政問題があり、情報保障(手話、要約筆記、触手話など)で1回の催しで約10万円の費用がかかるということです。しかし、我々障害者団体がみんなで協力して行うには、必要な予算であり助成金獲得などの工夫が必要であるということになりました。また、TDFの機関誌発行も検討したが発行できなかったので、今後の課題ということになりました。

研修会では、JDF政策委員長で障がい者制度改革推進会議構成員でもある、森祐司氏による「障害者基本法と今後の課題について」の講演があり、その後TDF加盟団体による、「災害と障害者」のテーマでパネルディスカッションが行われました。各障害者団体から各々の障害特性の話があり、被災時の状況や避難所、計画停電時の障害者の苦難が報告され、障害の特徴に応じたケアの重要性が浮かび上がりました。

今後の活動としては、12月18日に総合福祉部会の佐藤久夫氏をお招きし、総合福祉法骨格提言に関するフォーラムが宇都宮大学教育学部で開催される予定です。

## TDF加盟団体一覧 《○世話人》

- 栃木県身体障害者団体連絡協議会
- 特定非営利活動法人 栃木県車椅子の会
- (社)日本てんかん協会栃木県支部
- 栃木県自閉症協会
- 栃木県障害者地域活動支援センター作業所協議会
- きょうされん栃木支部
- 栃木県難病団体連絡協議会
- 栃木県オストミー協会
- 日本心臓ペースメーカー友の会栃木県支部
- 栃木県聴覚障害者協会

- とちぎもろ しゃとち かい  
栃木盲ろう者友の会「ひばり」
- (社) とちぎけんせいしんしょうがいしゃえんごかい  
栃木県精神障害者援護会「やしお会」
- とちぎけんしんたいふじゆうじしゃふ ぼ かいれんごうかい  
栃木県肢体不自由児者父母の会連合会
- とちぎけんきん きょうかい  
栃木県筋ジストロフィー協会
- (財) にほん しょうきょうがいとちぎしふ  
日本ダウン症協会栃木支部
- とちぎけんしゃかいしゅうろく きょうぎかい  
栃木県社会就労センター協議会
- (財) とちぎけんしかくしょうがいしゃふくしきょうかい  
栃木県視覚障害者福祉協会
- (財) とちぎけんちてきしょうがいしゃいやくせいかい  
栃木県知的障害者育成会
- とくていひ えいりかどうほうじん とちぎけんしょうがいしせつ じぎょうきょうかい  
特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会
- とくていひ えいりかどうほうじん けんきゅうかい  
特定非営利活動法人 とちぎノーマライゼーション研究会
- (財) とちぎけんしんたいしょうがいしゃふくしかいれんごうかい  
栃木県身体障害者福祉会連合会
- とくていひ えいりかどうほうじん じりつせいかつ  
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ
- ぜんこくせきすいそんしょうしゃれんごうかいとちぎけん しふ  
全国脊髄損傷者連合会栃木県支部
- とちぎけんせんえんせいしきしょうがいしゃかぞくかい  
栃木県遷延性意識障害者家族会「らいめい」
- とちぎけんじゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ まち かい  
栃木県重症心身障害児(者)を守る会
- とくていひ えいりかどうほうじん とちぎけんちゅうとしつちよう なんちようしゃきょうかい  
特定非営利活動法人 栃木県中途失聴・難聴者協会
- とくていひ えいりかどうほうじん おひさまクラブ  
特定非営利活動法人 おひさまクラブ
- とくていひ えいりかどうほうじん チャレンジド・コミュニティ  
特定非営利活動法人 チャレンジド・コミュニティ
- とちぎけんちてきしょうがいじしゃいせつほごしゅれんらくきょうぎかい  
栃木県知的障害児者施設保護者連絡協議会
- とちぎ こうじのうきょうのうしょうがいとち かい  
とちぎ高次脳機能障害友の会
- (社) うつのみやしんしょうがいしゃふくしかいれんごうかい  
宇都宮市障害者福祉会連合会
- とちぎけんしんたいしょうがいしゃいやりようごしせつれんらくきょうぎかい  
栃木県身体障害者療護施設連絡協議会
- とちぎけんりがくりょうほうしがい  
栃木県理学療法士会
- とちぎのうそちゅうしゅ かぞく かい はし  
とちぎ脳卒中者と家族の会} かけ橋〔
- とちぎけいすいそんしょうしゃれんらくかい  
栃木頸髄損傷者連絡会
- ぜんこくしょうがいしゃもんだいけんきゅうかいとちぎしふ  
全国障害者問題研究会栃木支部



とちぎしょう けんしゅうかい  
栃木障がいフォーラム研修会



おしらせ

**CILとちぎ**

**クリスマス会**

が ち  
12月11日

うつのみやしそごうふくし かい  
宇都宮市総合福祉センター10階

じ ぶん じ  
11時30分～15時

さんかひ えん  
参加費500円

き かん し こうどくかい いんほしゅううちゅう

**機関誌購読会員募集中**

じりつせいかつ きかんし ねん かいほつこう こうどく  
自立生活センターとちぎの機関誌(年3回発行)の購読をしてくれる

かい いん ほしゅう かい いん とうろく かつ  
会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとち

ぎのさまざま あんない ねんかいひ えん  
ぎの様々なイベントのご案内もいたします。年会費 300円